

資料6

平成30年7月17日

京都市教育長 在田 正秀 様

京都市地区小学校教科書選定委員会
委員長 牧野 雅彦

平成31年度 京都市立小学校及び義務教育学校（前期課程）
において使用する教科書の選定について(答申)

別紙のとおり答申いたします。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）
教科書の選定にかかる調査研究資料

目次

1 国語科	1
2 国語科（書写）	2
3 社会科	3
4 社会科（地図）	4
5 算数科	5
6 理科	6
7 生活科	7
8 音楽科	8
9 図画工作科	9
10 家庭科	10
11 体育科（保健領域）	11

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

光村図書出版「こくご・国語」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

季節に応じた言葉を位置付けた単元が2年生以上に配列されており、日常生活や季節と関連させた指導を発達段階に応じて系統的に行うことにより、日本で育まれてきた言語文化について実感を伴った学習を行うことができている。また、中学年以上では、「読むこと」と「書くこと」の領域を複合した学習の展開など、習得した力を生かす学習活動が行いやすいよう教材構成が工夫されている。教材配列が他教科等との関連を意識するとともに「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の指導を重視した構成となっており、新学習指導要領の柱の一つであるカリキュラム・マネジメントの先行実施に適している。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

言語活動例が豊富に示されていることから、当初、教科書に記載された言語活動を行うことが目的になりがちな面があったが、国語科の目指す資質・能力の明確化とその育成に向けた授業改善への意識の高まりが、創意ある言語活動の充実につながってきている。また、本文と挿絵や写真等を関連付けるなど、教材文と資料を結び付け、「原因と結果」、「根拠と結論」を明確にするといった読む活動とともに得られた情報を取捨選択して自分の考えを形成する活動が充実してきている。読書活動の充実を意識した系統的な単元配列がされており、学校司書との連携を密にすることで、学習センター・情報センターとしての活用が促進され、その波及効果として各教科等にも生かせる仕組みができ始めている。

4 平成31年度使用教科書について

言語活動例が豊富に掲載されていたり、教材構成が工夫されていたりするなど指導者が創意工夫できる要素が多く含まれるとともに、授業改善に向けた「めあて」と「ふりかえり」を意識した学習を行いやすく、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現にも効果的である。また、言語活動の中に、国語科で培った知識及び技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育成できる場面を適切に設定しており、他教科において表現活動などの学習が進めやすい。そのため、平成31年度においても現使用教科書である光村図書出版を継続して使用することが適切であると考えられる。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

教育出版「しょしゃ・書写」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

授業の導入時にめあてや学習の振り返りなどが明記された「学習の進め方」のページを確認することで見通しをもった学習を進めることができている。毛筆学習には、朱墨と薄墨を使って穂先の通り道が明確に示されおり、筆使いが分かりやすく主体的な学びにつなげやすい。また、毛筆学習のページに硬筆で教材文字を書き込む欄が設定されており、硬筆と毛筆とを関連づけた学習が進めやすい工夫がなされている。

新学習指導要領の重点の一つとして取り上げられている言語文化についての理解を深める内容が取り上げられており、我が国の伝統的な言語文化に関する指導の改善、充実につながっている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

国語科の教科書との関連を十分に生かすことができなかつたり、毛筆指導が中心となり、当初は日常生活や各教科等で活用する硬筆による「書く力」の指導につながりにくかった面も見られたが、カリキュラム・マネジメントの視点から年間計画を見直し、各教科等と関連付けた指導を行うことで、書写学習のねらいを達成することにつながっている。

また、硬筆教材には調べ学習のまとめ方や、校内掲示物の作り方など他教科や日常生活と関連付けた内容が掲載されており、これらを意識的に活用することにより、書写学習で身につけた「書く力」を他教科での学習や学校生活において生かすことができている。

4 平成31年度使用教科書について

写真や図版などの視覚的な工夫や「めあて」や「つまずきやすいポイント」の明示などにより、児童が具体的なイメージをもって、主体的な学習を進めることができるよう構成されているとともに、硬筆と毛筆を関連づけた教材や他教科等の学習活動で活用できる教材など教材構成にも工夫が図られており、「書く力」の向上につなげやすい。また、古典や俳句など我が国の伝統的な言語文化にかかわる教材も豊富なことから、新学習指導要領の趣旨に沿ったものである。そのため、平成31年度においても、現使用教科書である教育出版を継続して使用することが適切であると考えられる。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

東京書籍「新しい社会」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

各単元構成が、「つかむ」「調べる」「まとめる」の3段階の学習の流れを意図したものとなっており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができている。社会の事象に対し興味・関心が高まるよう構成や写真等が工夫されているとともに、「いかす」では、学習した内容と実社会との関わり方等が示されており、児童の主体的な学習を促すことにつながっている。また、学習を進める上でおさえておきたい言葉の意味を解説する「ことば」の欄や、社会科の特質に応じた学習活動の進め方が提示されている「まなび方コーナー」を活用することで、基礎的・基本的な内容の確かな定着が図りやすい。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

社会的事象への問題意識の高揚につながる写真や資料が豊富であり、児童に主体的に調べたり、考えたり、表現させたりしながら問題解決的な学習へとつなげる指導が行いやすい。また、話し合い活動や文章で考えをまとめる書く活動など、習得した知識や技能を活用する取組事例を活用することで、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業を展開することができている。さらには、様々な職業に従事する人々の姿を紹介し、生き方や社会について考える機会となる教材や、環境問題や情報化社会などの今日的な課題について発展的に取り組む教材などが用意されていることで、社会的事象への関心を高める授業が展開されている。また、歴史的な事例が現代との関わりで示されている場面が多く、そのことが児童に今の生活と関連付けて歴史や伝統について捉えさせる指導に生かされている。

4 平成31年度使用教科書について

新学習指導要領においても重視されている問題解決的な学習過程を意識した構成になっている。また、「読み取る」、「表す・伝える」など社会科の特質に応じた学習活動の進め方が示され、基礎的・基本的な内容の習得につなげやすく、児童の問題意識から学習問題を設定し、児童同士の話し合いの場面を提示して対話的な学びを促すとともに、「まとめる」のページにおいて、身に付けるべき知識が例示されていることなどから、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に有効に活用できると考える。そのため、平成31年度においても現使用教科書である東京書籍を継続して使用することが適切であると考えられる。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

地名のふりがな表記やわかりやすい文字表記、色彩により学習上重要な情報が捉えやすい工夫がなされている。巻頭に地図の成り立ちや地図帳の使い方が掲載されており、地図を読み取る技能と学習活動における活用方法を身に付けることができている。日本地図とともに都道府県の特徴をイラストで掲載するなど、各地域への興味・関心を高める工夫がなされている。社会科の教科書にも適宜、地図やその土地の様子等の資料が示されているが、本地図帳には地図上に人口規模に応じた記号や世界自然遺産等の環境に関する記号など、地域の様々な情報が記載されており、これらを手がかりに児童は都道府県の特徴をつかむ学習を進めている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

地域や県、国土の学習においては社会科教科書の資料活用に加えて、地図を活用することにより、汎用的な地図の活用の技能を磨いたり、位置や空間的な広がりを広範囲に捉えたりすることで、国土を意識した学習につなげることができている。

また、新学習指導要領では、歴史の学習においても社会的事象の背景に着目することや、外国との関わりを学ぶ場面についても「位置や空間的な広がり」の理解を深めるための地図の活用が提示されたことで、地図に掲載されている視点や課題を効果的に活用する学習展開の実践研究が進められている。

4 平成31年度使用教科書について

表記や色彩が工夫されており、重要な情報が捉えやすく、児童が学習を進める上で見やすく使いやすい紙面構成である。地図の成り立ちや地図帳の使い方など基礎的な内容が記載されていることにより、地図を使うための基本的な知識や技能の習得が図りやすい。また、地図とともに地域の様々な情報が図版等で記載されており、社会科学習において重要である資料を活用する能力の向上とともに、新学習指導要領で重視されている社会的事象の見方・考え方に示された「時期や時間の経過」、「事象や人々の相互関係」の視点で社会的事象を捉える学習に活用できる。そのため、平成31年度においても現使用教科書である帝国書院を継続して使用することが適切であると考えられる。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

新興出版社啓林館「わくわく算数」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

単元のねらいや本時のめあてとまとめが分かりやすく示され、児童自らが見通しをもって学習し、振り返る活動につなげやすい。自分の考えをわかりやすく説明したり、論理的に伝え合ったりする学び合いの場が適切に設けられ、数学的な思考力・表現力を育成しやすいように工夫されている。

児童が苦手としがちな文章問題については、単元を独立させて設定されており、じっくりと取り組ませやすい。四則計算の確かな理解や新しい思考法をスパイラルに学習することができるように構成されているとともに、習得した知識・技能を他教科や日常生活の場面で積極的に活用し、数学のよさに触れることができるよう教材が工夫されている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

教科書に記載されている学習の流れに沿いながら、児童の実態に応じた支援を工夫したり、教科書の挿絵や図の活用、ヒントという形で随所に配置された思考支援のための働きかけ等を活用することにより、児童が主体的に学習し、学び合う授業を意識して進めることができている。日常生活を想定した課題を用いた協働的な学習により、共に学び合いながら知識・技能の習得を図るとともに、よりよい考えを見い出したり、意味の理解を深めたり、新しい概念を形成したりして、深い学びにつながる授業改善が進められている。

4 平成31年度使用教科書について

児童自らが行うことができるようになる学習の進め方が提示されているとともに、1時間の授業の流れが明確である。自分の考えをわかりやすく説明したり、論理的に表現し伝え合ったりする活動を意図的に取り入れた学習場面が設けられており、新学習指導要領における数学的活動の「数学的に表現し伝え合う活動」を大切に学習につなげやすい。また、系統的な内容をスパイラルに学習することや、児童が苦手意識のある文章問題を独立させていることなど、確かな学力の育成につながる工夫がされている。そのため、平成31年度においても現使用教科書である新興出版社 啓林館を継続して使用することが適切であると考えられる。

教科名	理科
-----	----

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

大日本図書「新版 たのしい理科」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

巻頭に「理科の学び方」として、問題解決の過程と各学年で身に付けたい問題解決の能力が示されていることや、単元が問題の設定から予想、観察・実験、結果、考察、結論といった問題解決の学習に取り組めるよう構成されており、児童が見通しをもって学習を進めやすい工夫がなされている。また、観察・実験の方法や結果が、写真やイラスト、ノートの記述例などを用いて豊富に示されており、児童は学習へのイメージを高めて学習に取り組むことができている。さらに、児童の考えや思いを広げる手立てとなる観察ノート等、言語活動の充実を意図した図や写真なども多く、科学的な思考力・判断力・表現力等を育む上での支援となっている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

実生活との関連を意識させる資料や学習内容を活かした「ものづくり」の具体例、発展的な実験例なども充実しており、それらを活用しながら学習した内容が生活や社会の中でどのように活かすことができるのかといった理科の有用性を意識した授業が進められている。

問題解決的な学習や言語活動の場面については、巻頭の「理科の学び方」を活用することで、問題解決の過程を児童に意識させ、豊富な事例を活用しながら意図的に言語活動を設定する等の工夫をした授業を展開しやすい。一方、言語活動を充実させることが目的化してしまい、観察や実験などの体験活動が軽視されすぎないように、「体験活動」と「言語活動」のバランスを考えた単元構想による授業が進められている。

4 平成31年度使用教科書について

活動を通して見つけた気付きや疑問を基に学習問題を設定し、問題解決の過程に沿った授業を展開することで、児童が主体的に学習を進めたり、実生活での活用場面を想定しながら思考力・判断力・表現力等を高めることができるよう構成されている。また、児童同士の対話を通して科学的な見方・考え方の育成を重視していること、理科の有用性を実感できるものづくりや資料が充実していることなど、「主体的・対話的で深い学び」を目指す新学習指導要領の趣旨にも合致している。そのため、平成31年度においても現使用教科書である大日本図書を継続して使用することが適切であると考えられる。

教科名	生活科
-----	-----

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

光村図書出版「せいかつ 上みんなだいすき 下みんなともだち」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

各単元が児童の思考の流れに沿って「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、児童の思いや願いを大切にしながら、体験活動に取り組むことができている。スタートカリキュラムを意識したページをはじめ、児童の意識や発達段階を踏まえた工夫が効果的で、児童の自発的な気付きや思いを引き出すことにつながっている。掲載されている写真や言葉なども、児童が具体的にどのような活動や思考をすればよいかを促す工夫がなされており、児童は意欲的に学習活動に取り組んだり、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができている。また、「ジャンプ」のページでは体験活動を通して得られた気付きを伝え合う活動が設定されており、一人一人の気付きの質を高めることにつながっている。国語科の言語活動を意識した表現や理科の科学的興味につながるような表現や写真が随所に見られるなど、他教科との関連を意識しながら指導を進めることができている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

教科書には詳細な説明が省かれているため、児童の知識を広げる情報が少ないと感じられる面があったが、体験の中で知識及び技能を習得できるよう適宜補足しながら指導を行うことで、生きて働く知識を児童が得ることができ、気付きの質を高めることができている。また、必要に応じて図鑑や図書の活用、他者への聞き取りなど情報を自ら集める活動を充実させることで、結果的に児童の技能を高めることになっている。

感じたことを友だちと交流し、意見交換をして解決していく活動事例を参考にし、児童の思考の流れに沿った交流活動に取り組んでいる。

4 平成31年度使用教科書について

児童の思考の流れをしっかりと汲み、使用されている写真や言葉なども、児童が具体的にどのような活動や思考をすればよいかを促す表現となっており、写真や色使い等視覚的にも工夫されている。また、新学習指導要領で重視されているスタートカリキュラムを意識したページをはじめ、児童の意識や発達段階を踏まえた配慮が効果的で児童の自発的な気付きや思いを引き出し、実生活で身近な生活に関わる見方・考え方を生かすことにつながっている。そのため、平成31年度においても現使用教科書である光村図書出版を継続して使用することが適切であると考えられる。

教科名	音楽科
-----	-----

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

教育芸術社「小学生のおんがく・音楽」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

各題材が、表現及び鑑賞の能力の育成に必要となる共通事項を核として構成されているため、題材内の表現及び鑑賞の学びを相互に関連・発展させながら指導の充実を図ることができている。また、小学校と中学校を通した9年間のつながりにも配慮された題材配列で、系統的・段階的に「教材で何を教えるのか」という視点に沿った授業を実践しやすい。

題材及び教材において、学習のねらいが明確であるとともに、豊富な写真やイラストにより活動の手立てが具体的に示されており、児童の主体的な学びと豊かな音楽活動につなげることができている。教材には童謡や唱歌、伝統芸能など日本の文化への理解が深められる内容や、児童の心に寄り添う内容など多様なものが取り扱われており、児童が音楽のよさや美しさに触れることで、豊かな情操を育むことにつながっている。また、外国語活動等、他教科と相互の関連付けを図ることができる教材が多く、カリキュラム・マネジメントからの教科等横断的な視点での工夫につながっている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

教員が新学習指導要領で示されている「何ができるようになるか」、「どのように学ぶか」という視点を意識することで、音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする学習が広まり、音楽科で目指す資質・能力の育成に向け、音楽の見方・考え方を働かせた授業改善が進んできている。伝統的な音楽に関する指導については、箏等の楽器を用いた体験を重視した授業実践が展開されている。

4 平成31年度使用教科書について

共通事項を核に内容が構成されており、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞といった音楽活動をバランスよく学ぶことができる。第1学年の4月当初の題材は、生活科との合科的・関連的な指導の充実に必要な題材となっており、新学習指導要領で重視されているスタートカリキュラムの視点を踏まえた効果的な指導につながっている。また、系統的・段階的に学ぶことができる題材配列により、知識・技能の確実な定着が図りやすいだけでなく、「主体的・対話的で深い学び」の実現に効果的である。そのため、平成31年度においても現使用教科書である教育芸術社を継続して使用することが適切であると考えている。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

日本文教出版「ずがこうさく・図画工作」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

学習のめあてと振り返りが設定されており、児童が見通しをもって取り組みやすい。めあての中には児童同士の作品交流など言語活動につながる内容も設定されており、対話的な学習を充実させる指導に生かしやすい。1題材が見開き2ページで構成され、学習のめあてに沿った児童の作品や児童が活動に取り組んでいる写真が掲載されているため、教員は児童が身に付けるべき資質・能力と学習内容の関連を意識して指導を進めることができている。

材料・用具の扱い方や、材料・用具を用いた表し方が発達段階に応じて図や写真でわかりやすく記載されており、表現対象に応じた材料や用具の使い方を学びながら、表現の楽しさを実感できる学習指導が展開しやすく、新学習指導要領で示される「児童が自分の感覚や行為を通して理解する」ことや「十分に経験することを通して楽しみながら身に付ける」ことの指導につながっている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

豊富な学習活動の場面の写真を発想や構想を高める手がかりとして活用することにより、児童の学習活動へのイメージを高め、主体的な学びにつなげることができている。とりわけ、自身の作品や友だちの作品を見て意見を伝え合う活動の様子が伝わる写真などを活用することで、新学習指導要領で重視されている鑑賞と表現を関連付けた学習の充実につながっている。

また、日本の伝統的な文化遺産や芸術家の生き方など地域社会や生き方探究教育に関連する内容が取り上げられており、児童が図画工作科での学びと自分の日常生活や地域社会とのつながりを意識したり、自分の将来の生活や生き方等に広げて考えたりする活動につながっている。

4 平成31年度使用教科書について

題材のめあてと振り返りがわかりやすく示され、児童が見通しをもって学習しやすい構成であり、「造形的な見方・考え方」を働かせた学習活動の場면을写真や吹き出しなどで示すことで児童が活動へのイメージを高め、主体的な学びにつなげることができている。また、材料・用具を用いた表し方についても発達段階に応じた方法が示されており、新学習指導要領で示されている「児童が自分の感覚や行為を通して理解する」ことの指導の充実につなげやすい。そのため、平成31年度においても現使用教科書である日本文教出版を継続して使用することが適切であると考えられる。

教科名	家庭科
-----	-----

平成31年度使用小学校・義務教学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

東京書籍「新編 新しい家庭5・6」

2 教科書使用の実感等について

(1) 概要

題材ごとに「学習のめあて」と「ふり返ろう」が明示されており、児童が題材の中で身に付けるべき力を意識しながら学習に取り組むことができている。学習のめあては3ステップで構成されており、3つ目のステップでは生活に生かすことや新たな課題を見つけることが設定されているため、学習内容の確実な定着につなげやすい。また、「成長の記録」のページを活用し、学習を通じた変容を児童自身が確認することで、自己肯定感の向上につなげやすい。

他教科と関連付けながら、2年間を見通した弾力的な指導計画を構築しやすい構成となっており、指導の質を高めることにつながっている。実習時の写真やイラストが豊富であったり、包丁の持ち方が実物大の写真で示されていたりするなど、児童が興味・関心をもって家庭での実践につなげたり、安全に取り組めるよう工夫されている。

(2) 「選定の観点」別の講評

別紙のとおり

3 授業における工夫等について

題材や構成が工夫されており、家庭生活や家族と関連づけながら問題解決的な学習を進めることができている。これらの学習を通して児童が家族を大切にしている心情を育み、学習内容を生活に生かそうとする意欲の向上につながっている。題材の内容項目内に複数設定されている「Do!活動」には、調べ学習や話し合い活動、習得したことを活用することを促す活動が示されており、これらを児童の実態に合わせて展開することで、問題解決的な学習に取り組むことができている。

活動の手順などがわかりやすく写真やイラストで示されており、教員が児童に提示しながら授業を進めることで、意欲的に活動に取り組むことができている。

4 平成31年度使用教科書について

基礎的・基本的な学習内容の定着を繰り返し確認できる項目や、家族・家庭、衣食住、消費・環境等、生活の営みに係る見方・考え方を働かせるような項目が題材ごとにバランスよく設定されており、児童の学びの質を高める上で効果的である。また、実習上の注意事項や作業工程がわかりやすく示され、安全な学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。新学習指導要領で示されている「日本の生活文化」の内容が、題材ごとに分かりやすく記載されており、児童が大切さに気付く学習につなげやすい。そのため、平成31年度においても現使用教科書である東京書籍を継続して使用することが適切であると考えられる。

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）教科書の選定にかかる調査研究資料

1 現在使用教科書

学研教育みらい「新・みんなのほけん・保健」

2 教科書使用の実感等について

(1)概要

学習内容が単元ごと、毎時間ごとに明示されており、学習の流れがわかりやすい構成となっている。また、学習のまとめが各単元の最終ページに掲載されていることで、単元で育てたい資質や能力を意識した学習を展開しやすく工夫されている。まとめには「明日につなげる」という項目が設定されており、「保健領域の目指す資質・能力」を意識しながら健康や安全の意識向上を図るとともに、習得した知識・技能を実生活へ生かす指導につながっている。

単元の中に取り上げられている「もっと知りたい・調べたい」のページには、児童の興味・関心を引き出し、教員が取捨選択しながら発展的に学習を深められるような専門的な内容が紹介されており、授業においても効果的に活用することができている。

(2)「選定の観点」別の講評

別紙の通り

3 授業における工夫等について

掲載されている豊富な資料や写真を活用するとともに、必要に応じて各校の実態に合わせたデータ等を示すことにより、児童に身近な課題として実感をもたせる授業の工夫がみられている。また、実生活に結び付けることを意識した授業展開により、児童の興味・関心を高める授業改善が進められている。

防災教育やがん教育、食育など発展的な学習につながる資料が豊富に掲載されており、「関連」の項目に記載されている他教科や既習事項に関連する内容や、「もっと知りたい・調べたい」に掲載されている発展的な内容を活用することにより、カリキュラム・マネジメントの視点を意識しながら、他教科と関連付けた授業が進められている。

4 平成31年度使用教科書について

各単元において、授業の流れが分かりやすく資料が豊富であるため、指導者がそれぞれの学級の実態に合わせた授業を組み立てやすく、児童にとっても使用しやすい。特に、健康や安全について考えを深めるための資料や写真が豊富であり、児童は学習内容を児童自身の生活や心身と結び付けて考えやすい。また、新学習指導要領に示されている主体的に健康の保持増進や回復に取り組む態度を養うことにつなげることができる目標、内容が適切に設定されている。そのため、平成31年度も現使用教科書である学研教育みらい出版を継続して使用することが適切であると考えられる。